



## 2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東  
 コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久布白 兼直  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 落合 雅三 TEL 03-6631-1201  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期第3四半期の業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	572	△2.8	△1,145	—	△1,090	—	△1,111	—
2024年9月期第3四半期	589	19.8	△996	—	△948	—	△951	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△4.20	—
2024年9月期第3四半期	△3.78	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	4,498	4,017	89.3
2024年9月期	5,700	5,190	91.1

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 4,017百万円 2024年9月期 5,190百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930	21.0	△1,491	—	△1,485	—	△1,489	—	△5.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	264,729,198株	2024年9月期	264,515,306株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	64株	2024年9月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	264,620,229株	2024年9月期3Q	251,522,598株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間(2024年10月1日から2025年6月30日まで)においては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果で景気は緩やかに回復していますが、米国の通商政策の影響により景気の下振れリスクが高まっていること、物価上昇の継続等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は事業の中核をなす医療機関向けの特定細胞加工物の製造に加えて、企業等に向けた細胞加工業への展開、再生医療等製品の開発の加速等、新たなビジネス領域の拡大により早期の収益構造の改善に注力しておりますが、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いております。

この結果、当第3四半期累計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	四半期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失 (△)
当第3四半期 累計期間	572	△1,145	△1,090	△1,111	△4.20円
前第3四半期 累計期間	589	△996	△948	△951	△3.78円
増減率(%)	△2.8	—	—	—	—

当第3四半期累計期間においては、「CDMO事業」と「バリューチェーン事業」が前年同期比で増収になった一方、「特定細胞加工物製造業」では前年より開始した株式会社資生堂より技術提供を受けた製造受託に伴う売上高が期初より発生したものの、前年同期に計上した技術移転一時金が発生せず減収になったことから、売上高は572百万円(前年同期比2.8%減)となりました。損益面につきましては、上記の通り売上高が減少したこと、細胞加工受託の拡大に向けた新規細胞加工の受託体制の整備に係る先行投資により原価が増加したことから、売上総利益は65百万円(前年同期比39.0%減)、研究開発費及び販売費の増加等により販売費及び一般管理費は1,210百万円(前年同期比9.7%増)となり、営業損失は1,145百万円(前年同期は営業損失996百万円)となりました。また、加工中断収入6百万円(前年同期比9.7%減)、投資事業組合運用益30百万円(前年同期比13.9%減)等の営業外損益により、経常損失は1,090百万円(前年同期は経常損失948百万円)となり、固定資産の減損損失25百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純損失は1,111百万円(前年同期は四半期純損失951百万円)となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2	
	細胞加工業		再生医療等製品事業			セグメント 損失(△)	売上高
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)			
当第3四半期 累計期間	572	△380	0	△326	△438	572	△1,145
前第3四半期 累計期間	589	△245	0	△316	△434	589	△996

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

① 細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域(「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」)の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。当第3四半期累計期間においては、「特定細胞加工物製造業」では従来の免疫細胞の製造受託に加え、前年より開始した株式会社資生堂より技術提供を受けたS-DSC®の製造受託開始に伴う売上高が期初より発生しましたが、前年同期に計上した技術移転一時金が発生しなかったことから売上高は433百万円(前年同期比7.6%減)、「CDMO事業」では従来のヤンセンファーマ株式会社からの製造受託が継続する中、大学発ベンチャー企業から新規案件を受託いたしました。当該案件の売上計上は第4四半期以降に段階的に行う予定であるため、売上高は78百万円(前年同期比2.5%増)にとどま

りました。「バリューチェーン事業」では、施設運営管理の受託期間満了となった施設が発生したものの、Medigen社からのロイヤリティ収入及び医療機器の販売が発生したことから売上高が60百万円（前年同期比39.0%増）となった結果、売上高は572百万円（前年同期比2.8%減）となりました。細胞加工受託の拡大に向けた新規細胞加工の受託体制の整備に係る先行投資による原価の増加や販売費の増加等より、セグメント損失は380百万円（前年同期はセグメント損失245百万円）となりました。

② 再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、九州大学と共同で実施しておりました慢性心不全治療を目的とする再生医療等製品（ $\alpha$ -GalCer/DC）の医師主導第Ⅱb相試験の結果を踏まえて総合的に検討した結果、 $\alpha$ -GalCer/DCの開発中止を2024年11月に決定いたしました。このため、 $\alpha$ -GalCer/DCにかわる開発候補品の早期獲得を目指し、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充の検討を加速しております。当第3四半期累計期間においては、売上高は0百万円（前年同期比4.0%増）、研究開発費の増加等によりセグメント損失は326百万円（前年同期はセグメント損失316百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況  
(財政状態)

	前事業年度末	当第3四半期 会計期間末	増減
資産合計（百万円）	5,700	4,498	△1,201
負債合計（百万円）	509	481	△27
純資産合計（百万円）	5,190	4,017	△1,173
自己資本比率（%）	91.1	89.3	△1.8
1株当たり純資産（円）	19.62	15.17	△4.45

資産合計は、前事業年度末に比べて1,201百万円減少し、4,498百万円となりました。主な要因は、現金及び預金2,093百万円及び有形固定資産49百万円の減少、有価証券1,000百万円の増加です。

負債合計は、前事業年度末に比べて27百万円減少し、481百万円となりました。主な要因は、未払法人税等25百万円及び賞与引当金31百万円並びに固定負債「その他」25百万円の減少、流動負債「その他」51百万円の増加です。

純資産合計は、前事業年度末に比べて1,173百万円減少し、4,017百万円となりました。主な要因は、四半期純損失計上に伴う利益剰余金1,111百万円の減少です。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の91.1%から89.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月13日に公表しました業績予想から変更はございません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減後、回復が十分でないことに加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗、新規開発候補品の導入評価等に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、細胞加工業セグメントにおいては、特定細胞加工物の受託拡大と新規のCDMO案件の獲得等にて売上高の回復を図るとともに、製造体制の適正化による原価の低減、販売費の効率化等を推進することにより、同セグメントのセグメント利益の黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当第3四半期会計期間末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,651,181	2,557,914
有価証券	—	1,000,000
売掛金	227,801	205,075
商品及び製品	—	309
仕掛品	18,684	42,869
原材料及び貯蔵品	31,473	24,794
その他	83,935	80,478
流動資産合計	5,013,076	3,911,442
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	340,610	297,751
その他(純額)	82,073	75,766
有形固定資産合計	422,683	373,517
無形固定資産		
投資その他の資産	100,761	72,443
投資有価証券	101,522	77,841
長期貸付金	495,250	491,500
その他	86,466	87,222
貸倒引当金	△519,728	△515,078
投資その他の資産合計	163,509	141,485
固定資産合計	686,955	587,446
資産合計	5,700,031	4,498,889
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,502	43,029
未払法人税等	28,654	3,157
賞与引当金	67,604	35,731
その他	115,160	166,365
流動負債合計	268,922	248,284
固定負債		
資産除去債務	160,157	161,683
株式報酬引当金	43,865	61,287
その他	36,319	10,570
固定負債合計	240,342	233,541
負債合計	509,264	481,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,486,162	5,102,250
資本剰余金	1,327,182	3,850
利益剰余金	△2,714,945	△1,111,813
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,098,395	3,994,282
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,370	22,781
評価・換算差額等合計	92,370	22,781
純資産合計	5,190,766	4,017,064
負債純資産合計	5,700,031	4,498,889

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	589,485	572,743
売上原価	482,732	507,642
売上総利益	106,752	65,101
販売費及び一般管理費	1,103,204	1,210,432
営業損失(△)	△996,451	△1,145,331
営業外収益		
受取利息	4,984	11,209
為替差益	—	75
投資事業組合運用益	34,990	30,138
貸倒引当金戻入額	4,650	4,650
加工中断収入	7,739	6,990
その他	2,219	3,218
営業外収益合計	54,584	56,281
営業外費用		
支払利息	22	7
為替差損	12	—
株式交付費	6,753	1,514
営業外費用合計	6,788	1,521
経常損失(△)	△948,656	△1,090,571
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,281
特別利益合計	—	7,281
特別損失		
減損損失	—	25,366
特別損失合計	—	25,366
税引前四半期純損失(△)	△948,656	△1,108,655
法人税、住民税及び事業税	3,157	3,157
法人税等調整額	△397	—
法人税等合計	2,760	3,157
四半期純損失(△)	△951,417	△1,111,813

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
特定細胞加工物製造業	469,191	—	469,191	—	469,191
CDMO事業	76,724	—	76,724	—	76,724
バリューチェーン事業	43,372	—	43,372	—	43,372
ライセンス収入	—	196	196	—	196
顧客との契約から生じる 収益	589,288	196	589,485	—	589,485
外部顧客への売上高	589,288	196	589,485	—	589,485
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	589,288	196	589,485	—	589,485
セグメント損失(△)	△245,449	△316,159	△561,609	△434,842	△996,451

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△434,842千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
特定細胞加工物製造業	433,621	—	433,621	—	433,621
CDMO事業	78,617	—	78,617	—	78,617
バリューチェーン事業	60,300	—	60,300	—	60,300
ライセンス収入	—	204	204	—	204
顧客との契約から生じる 収益	572,539	204	572,743	—	572,743
外部顧客への売上高	572,539	204	572,743	—	572,743
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	572,539	204	572,743	—	572,743
セグメント損失(△)	△380,324	△326,980	△707,304	△438,026	△1,145,331

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△438,026千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期会計期間より、収益の分解情報をより明瞭な表示とするため、従来の単一の区分から、「特定細胞加工物製造業」、「CDMO事業」、「バリューチェーン事業」、「ライセンス収入」の区分へと表示方法を変更しております。

この変更に伴い、前第3四半期累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報を組み替えて表示しております。なお、当該変更による報告セグメントの変更はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「細胞加工業」において、品川C P Fにおける工程管理システムの導入を一旦見送ることを決定したことに伴い、ソフトウェア仮勘定に計上していたその先行開発部分について、回収可能性を再検討した結果、減損損失として25,366千円を特別損失に計上いたしました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月18日開催の第29回定時株主総会の決議に基づき、2025年1月31日付で繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。

この結果、資本金が1,387,762千円、資本剰余金が1,327,182千円減少し、利益剰余金が2,714,945千円増加しましたが、株主資本の合計金額には変動はありません。

また、2025年2月17日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,850千円増加しました。

以上の結果、当第3四半期会計期間末において資本金が5,102,250千円、資本剰余金が3,850千円、利益剰余金が△1,111,813千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	85,184千円	75,541千円